

ビームライン・実験装置 評定票

評価委員名	構造物性分科		
ビームライン名	BL-15C	ビームライン担当者名	平野 馨一
課題数	過多	やや過多	○適切
混雑度	2倍以上	1.5倍から2倍	○1倍から1.5倍
主な研究手法、研究分野とビームライン担当者の位置付け	a X線光学 b 表面・界面X線回折 c	○分野をリード、分野の中核、分野の一人、分野外	○分野をリード、分野の中核、○分野の一人、分野外

ビームラインの性能等について

適切に保守、整備されて、本来あるべき性能を発揮しているか	5 フル性能を発揮	○4 ほぼ性能を発揮	3 まあ性能を発揮	2 改善の余地あり	1 改善が必須
取扱は容易か	5 容易	4 やや容易	○3 普通	2 やや難	1 難
取扱説明書は整備されているか	5 充実	4 やや充実	○3 普通	2 やや不足	1 ない
性能・仕様等で特記すべき点、他施設と比較して特記すべき点	特になし				
改良・改善すべき点	マニュアルの電子化、Web Page の整備を急ぐ必要がある。				

実験手法のビームラインとの適合性・研究成果について

※1：光源、ビームライン光学系と研究手法は適合しているか。

手法 a	適合性 (※1)	5. 最適	○4. 適切	3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5. 極めて高い	○4. 高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
手法 b	適合性 (※1)	5. 最適	4. 適切	○3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5. 極めて高い	4. 高い	○3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
手法 c	適合性 (※1)	5. 最適	4. 適切	3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5. 極めて高い	4. 高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
総合評価	研究成果	5. 極めて高い	○4. 高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
	世界の状況と比較しての評価、ビームライン性能が律速となっている場合はその指摘	X線光学研究はアイデア勝負の世界であり、優れたアイデアさえあれば、PFのような第二世代の放射光施設でも立派な成果を上げることができる。たとえば、X線透過型移相子などはその良い例である。BL-15Cは(SPring-8などよりも)ビームタイムを長く取れるため、新しい光学素子や実験手法の開発など(これには大抵長い時間が必要である)を行うのに適している。				

実験装置の性能等について

使用している実験装置名(a)	水平多軸X線回折計				
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を發揮しているか	○5.フル性能を發揮	4.ほぼ性能を發揮	3.まあ性能を發揮	2.改善の余地あり	1.改善が必須
取扱は容易か	○5.容易	4.やや容易	3.普通	2.やや難	1.難
取扱説明書は整備されているか	5.充実	4.やや充実	○3.普通	2.やや不足	1.ない
性能、仕様等で特記すべき点	特になし				
改良・改善すべき点	特になし				

使用している実験装置名(c)					
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を發揮しているか	5.フル性能を發揮	4.ほぼ性能を發揮	3.まあ性能を發揮	2.改善の余地あり	1.改善が必須
取扱は容易か	5.容易	4.やや容易	3.普通	2.やや難	1.難
取扱説明書は整備されているか	5.充実	4.やや充実	3.普通	2.やや不足	1.ない
性能、仕様等で特記すべき点					
改良・改善すべき点					

使用している実験装置名(b)	水平多軸X線回折計				
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を發揮しているか	○5.フル性能を發揮	4.ほぼ性能を發揮	3.まあ性能を發揮	2.改善の余地あり	1.改善が必須
取扱は容易か	○5.容易	4.やや容易	3.普通	2.やや難	1.難
取扱説明書は整備されているか	5.充実	4.やや充実	○3.普通	2.やや不足	1.ない
性能、仕様等で特記すべき点	特になし				
改良・改善すべき点	特になし				

今後のビームラインのあり方について

今後の計画の妥当性について	現状を維持し、現在のアクティビティのレベルを保つ必要がある。				
今後5年間に	高い優先度で予算投入	余裕があれば予算投入	○現状維持	投資を抑制すべき	転用の道を探すべき
その他今後の計画に付いての意見	特になし 今後とも地道な開発研究の舞台であり続けることが期待される。しかしながら、第二世代で出来ることのみをやっていたのでは研究者としての担当者が気の毒なので、時々第三世代や第四世代でのホットな開発研究に参加できるような配慮が必要かと思われる。				